

日本三大峡谷 清津峡

黒部峡谷・大杉谷とともに日本三大峡谷の一つとして知られる「清津峡」は、1941年4月に国の名勝・天然記念物に指定された。1949年9月に指定された上信越高原国立公園内に位置し、学術的資料の宝庫でもあります。

清津峡の誕生

1500万年前 海底火山の噴火活動により、噴出物や火山灰が堆積して固まった緑色凝灰岩を多く含む地層(七谷層)が形成される。

700万年前 マグマが七谷層に流入し、石英閃緑ひん岩となる。冷えて固まる際に体積が収縮し、柱状節理となる。

約260万年前～柱状節理の隆起と清津川の浸食により、地上に露出し、さらに谷が深くなったことで清津峡ができた。

溪谷トンネルの建設

1996年10月 清津峡溪谷トンネル開坑

2018年 5月 「大地の芸術祭」の作品としてリニューアル

2021年 4月 第二見晴所に作品を追加

柱状節理

清津峡の雄大な景観美を形成している柱状の岩は「柱状節理」と呼ばれ、岩体冷却の体積収縮によって冷却面に垂直に六角柱状の節理が生じたものです。見晴所からはこの柱状節理を間近に見ることができます。



「大地の芸術祭」の里

清津峡のある越後妻有地域は、2000年から開催されている世界最大級の国際芸術祭「大地の芸術祭」の舞台です。年間を通して、各所に点在する約200のアート作品やイベントを楽しむことができます。

www.echigo-tsumari.jp



内海昭子「たくさんの失われた窓のために」

STAMP

清津峡溪谷トンネル

■ 全長750m、往復所要時間40～60分

*トンネル内はトイレが限られています。第1駐車場横の公衆トイレのご利用をお勧めいたします

■ 入坑料金 | 料金変動制のため、詳しくは公式HPをご覧ください

*未就学児・障がい者手帳所持者は無料
*20名様以上のご利用で団体料金
*トンネル内受付脇の券売機で入坑券を購入ください
*予約者限定営業日は、現地販売はございません

■ 開坑時間 | 8:30～17:00 (最終入坑16:30)

*12月～2月末 9:00～16:00 (最終入坑15:30)
*冬期間は、降積雪等の状況により臨時休坑になる場合がございます

■ エントランス施設

1F カフェ・ショップ

2F 足湯(無料)

営業時間 | 9:00～16:00

※12月～3月は2階足湯休止

■ お問い合わせ

〒949-8433

新潟県十日町市小出

TEL 025-763-4800

FAX 025-763-4801

E-mail: ns-kiyotsu@nakasato-kiyotsu.com



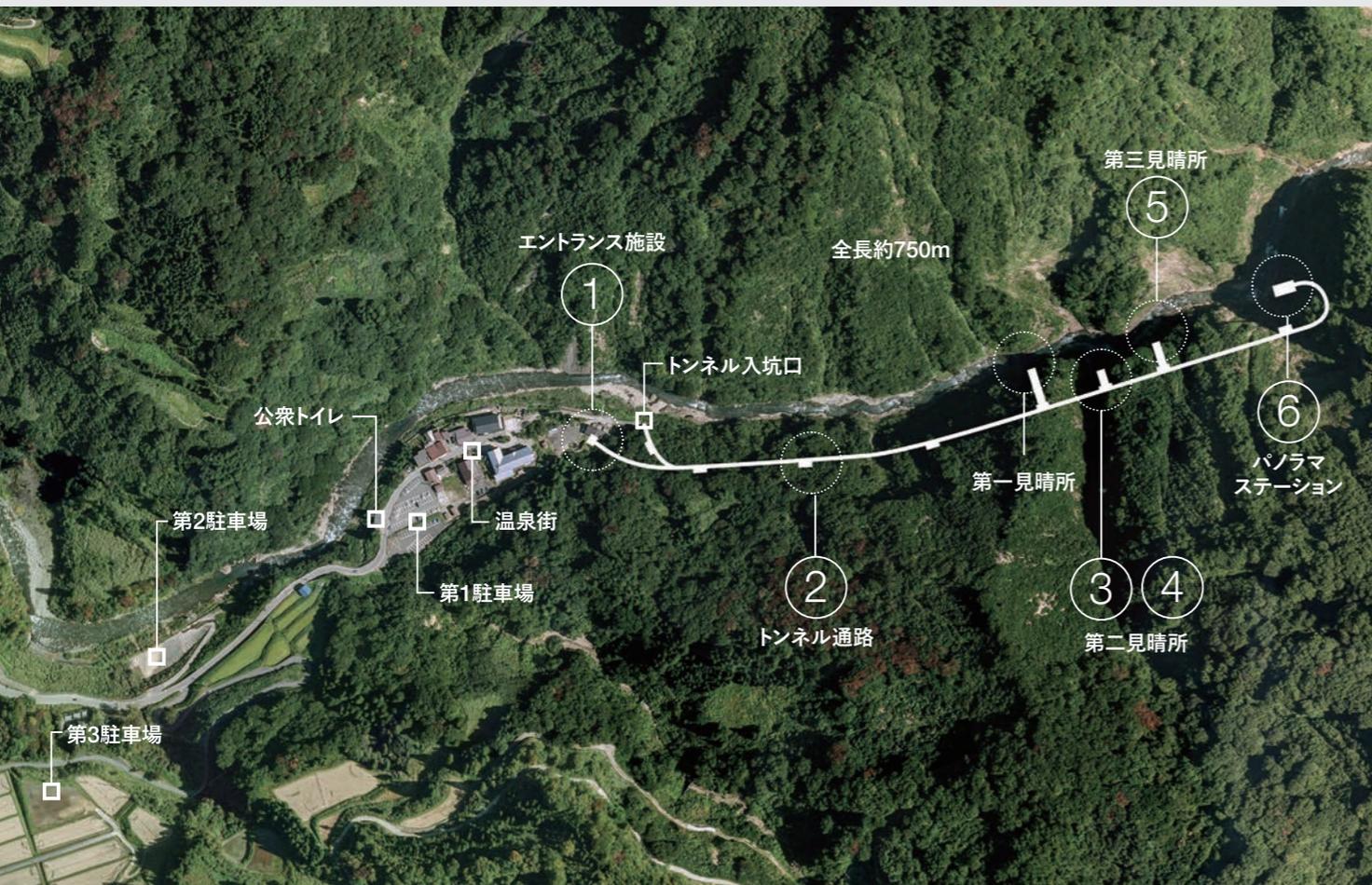
予約者限定営業日がございます。対象日は公式HPをご確認ください。

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

Tunnel of Light
マ・ヤンソン / MADアーキテクト
清津峡溪谷トンネル

Tunnel of Light

越後妻有を代表する名所の一つ、清津峡渓谷トンネルを「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018」でアート作品「Tunnel of Light」として改修。さらに、エントランス施設を新設。全長750mのトンネルを外界から遮断された潜水艦に見立て、外を望む潜望鏡として途中の見晴所と、終点のパノラマステーション等で作品を展開する。自然の「5大要素」(木、土、金属、火、水)を利用して、建築的な空間とアーティスティックな雰囲気を作りだし、この歴史あるトンネルを変容させた。人間と自然の関係を改めて考え、地元の人々、来訪者双方を土地の圧倒的な美しさに再びつなげることを意図している。



マ・ヤンソン / MADアーキテクト

MADアーキテクトは2004年に中国出身の建築家マ・ヤンソンによって設立され、ダン・チュン(米国)と早野洋介(日本)の3名にて運営される建築事務所。北京、嘉興、ロサンゼルス、ローマに事務所を構える。東洋的自然観をもとに現代社会における

新しい建築のありかたの発展に取り組み、人々の感情を中心に据えた未来都市「山水都市」のコンセプトを核とし、人と都市と環境との新たな関係性の創出に専心している。



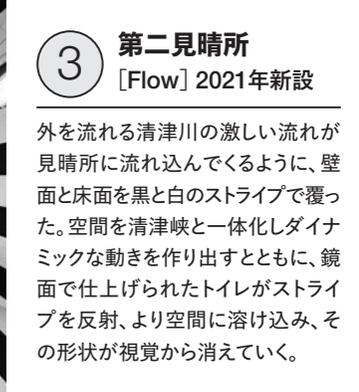
1 エントランス施設 [ペリスコープ(潜望鏡)]

1階にショップとカフェ、2階に足湯を持つ。現地の温泉水に足を浸しながら頭上を見上げれば、清津峡の景色が天井の丸い開口部を覆う鏡に反射して内部へ差し込む。



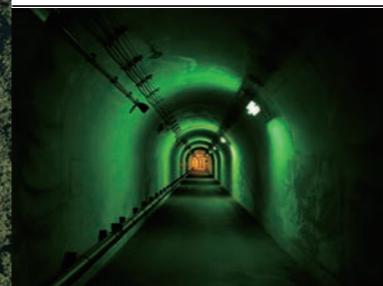
4 第二見晴所 [見えない泡]

異世界から降りてきたような、有機的な形をしたトイレは、トンネルのシルエットを柔らかかに映し出し、周囲の風景を反射させる。峡谷に向かって内から外が透過することで、トイレの中から見晴所の空間を通して、清津峡の風景を楽しめる。



2 トンネル通路 [色の表出]

5つの異なる色が彩る光のトンネルが各展望台に誘う。トンネルの深部から聞こえてくるミステリアスな音楽とともに、トンネルを歩く人たちに未知なるものへの好奇心をかきたてる。



6 パノラマステーション [ライトケープ(光の洞窟)]

清津峡の景観を反転して映す「水盤鏡」が幻想的な眺めを作り出す。半鏡面のステンレス板が全体を覆い、荒々しい岩の形、鮮やかな緑、青緑色の河水を、さまざまな反射によって内部に取り込む。峡谷の沢水の冷たさを足で感じながら、風景と一体化した空間を体験する。



5 第三見晴所 [しずく]

湾曲した壁にちりばめられた露のしずくのような形の鏡が、外の風景を反射しながら内部に取り込む。自分の姿もまたさまざまな角度で反射し、超現実的な空間を作り出す。日が落ちると、鏡の背面から火のような赤いライトが徐々に空間を覆っていく。

